

[講演 3] よくわかって飲もう痛み止め

須磨区薬剤師会

須田 千世先生

とても多くの方が 腰痛を経験していますね。おしゃべりの話題にも登場している事と思います。そして情報交換がすぎてどうしてよいのかわからない人もちらほら・・・。

薬局での患者様との会話の中でよく耳にするのが、“痛み止めはいざという時の為に我慢する”とか、“あんまり飲まないほうがよいらしいので我慢している”とかなどですが・・・。腰痛は器質的に大きく問題がなければ、うまくコントロールして日常生活に支障がないようにまで治療し、あとはうまくお付き合いするのがスタンダードになっているようです。

その治療薬の一つ“痛み止め”。腰痛になると痛くて動きづらくなりますが、動けるようになるには痛みや炎症を取ることが第一。動かすことで患部の循環改善となり快方に向かう為にはどうやらがまんしないで正しく服用することが何より大事のようです。

さて、巷では一体どんな痛み止めが処方されているのか？ 消炎鎮痛剤の代表選手ロキソニンを筆頭によく処方されている薬はどんな効き目なのか？ よくある副作用はどんな事なのか？腰痛から解放される為に、知って安心そして安全に服用できるよう薬の知識を持ってもらえたら幸いです。